

【中学生議会 市長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	たかだ ゆう 議員 高田 悠生議員
発言順(通し番号)	NO: 1	所管課・室名	長寿社会課

質 問 事 項	一人暮らしの高齢者の方の夜間の在宅支援について
具 体 的 な 提 言	高齢者の夜間見守り活動をしていただける方を探す 呼びかけと、一人暮らしの高齢者の方の自宅へのブ ザーとカメラ設置

【市長答弁】

たかだ  
高田議員のご質問にお答えします。

人口に占める 65 歳以上の方の割合を高齢化率といたしますが、安曇野市の場合、11 月 1 日現在 30.14%となっており超高齢者社会をむかえております。また平成 29 年 3 月末現在 2,603 人の高齢者の方がお一人で生活されています。

ご提案いただきました、高齢者の夜間見守り活動は、地域住民が一人暮らし高齢者を支え合うという市が推進している地域福祉活動の一つであると考えております。

また市では「緊急通報サービス事業」を実施しております。これは、一人暮らし高齢者の自宅に緊急通報機器を設置し、緊急時の対応を迅速に行うものでありますが、9 月末現在 292 人の方に利用していただいております。

市といたしましても、一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる施策を今後も実施してまいります。

【中学生議会 市長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち②

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	高橋優佳議員 <small>たかはしゆうか</small>
発言順(通し番号)	NO:2	所管課・室名	介護保険課

質 問 事 項	高齢者の介護予防について
具 体 的 な 提 言	65歳以上の介護予防講演会を、若者向けにしたものを計画したらどうか

【市長答弁】

次に、たかはし高橋議員のご質問にお答えします。

議員ご指摘のとおり、高齢化の進展とともに介護が必要な高齢者も増加傾向にあります。

そこで市では、市民の皆様一人ひとりが地域で健康に生き生きと暮らすことができるよう「健康長寿のまちづくり」を重点施策に掲げ、「健康寿命日本一」を目指し、健康づくり事業や介護予防事業に取り組んでいるところです。

介護予防は、市民の皆様若い頃から健康に関心を持っていただき、運動や食生活など、ご自身の生活習慣を振り返り、健康づくりに取り組むことが大切です。

議員ご提案の「若者向けの介護予防講演会」につきましては、現在行っている講演会におきましても、ご高齢の方だけではなく、若い方にもご参加をいただいております。

今後は、今まで以上に若い方にも関心を持っていただけるよう、講演会だけでなく、認知症についての正しい知識を持つことや介護予防や健康づくりの重要性についての啓発活動を進めてまいりたいと思います。

市民の皆さんが、いつまでも健康で長生きをし、安心して生活できる社会を作りたいと考えております。

【中学生議会 市長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち③

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	栗幅 <sup>くりはば</sup> 建年 <sup>たけと</sup> 議員
発言順(通し番号)	NO: 3	所 管 課 ・ 室 名	商工労政課

質 問 事 項	子育てをしている方の働き方について
具 体 的 な 提 言	長時間労働によって保育園に迎えに行けないので合計で8時間なら、いつでも職場を抜けられるようにしたらどうか。

【市長答弁】

最後に、栗幅<sup>くりはば</sup>議員のご質問にお答えします。

長時間労働は、仕事と家庭生活との両立を困難にし、少子化や、男性の家庭参加、女性のキャリア形成を阻む原因となっています。

議員ご提案の子育てをしている方への支援は、まさに国が提言している、あらゆる場で誰もが活躍できる全員参加型社会の実現を目指す「ニッポン一億総活躍プラン」の柱のひとつである「働き方改革」に通じる先進的なものであります。

そのカギとなります仕事と生活の調和、ワーク・ライフ・バランスの達成のためには、柔軟な働き方がしやすい環境整備が重要であります。

市でも「安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、子育て支援や若者や女性が活躍できる社会の実現のための施策に取り組んでおります。

また、長野県では、従業員が仕事と家庭の両立ができるような働きやすい職場環境づくりの取り組みを企業に宣言してもらった「社員の子育て応援宣言」の取り組み

をしております、現在 37 社が登録されています。

また、長野県連合婦人会が発案し、「イクボス・温かボス宣言」により、職場におけるワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の推進に取り組んでおります。現在 62 団体（23 市町村、民間 39 団体）が宣言し、安曇野市役所もこの宣言をしました。

働き方改革は、企業の皆様のご理解、ご協力なくしては実現できませんが、行政もその周知、施策の整備等、一体となって取り組んでいかなければならない課題であると考えております。

穏やかに暮らせるまちグループの、詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 部長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	たかだ ゆう 高田 悠生議員
発言順(通し番号)	NO:1	所管課・室名	長寿社会課

質 問 事 項	一人暮らしの高齢者の方の夜間の在宅支援について
具 体 的 な 提 言	高齢者の夜間見守り活動をしていただける方を探す 呼びかけと、一人暮らしの高齢者の方の自宅へのブ ザーとカメラ設置

【福祉部長答弁】

たかだ  
高田議員のご質問にお答えします。

それでは、私から事業の内容についてお答えいたします。

先ほどの「緊急通報サービス事業」は、携帯型の緊急ボタンか機器にあるボタンを押すと業者に連絡がいき、緊急時には、あらかじめ頼んである近所の方が駆け付けるというもので、24時間対応しています。

また、議員ご提案のカメラの設置につきましては、やはりプライバシー保護の観点からも現在のところ導入は難しいものと考えておりますが、この事業では、家の中に赤外線センサーを設置し、24時間感応しない場合は、人の動きがないと判断し、先ほどと同様に登録いただいている近所の方に安否確認していただくという機能もあります。

しかし、一人で暮らしている高齢者の見守り活動は、この事業だけでは足りません。地域住民、民生委員、介護事業者、行政などが、それぞれ連携をとりながら実施することが重要と考えております。

さまざまな取り組みを通じ、議員ご指摘のとおり、安曇野市民一人ひとりに助け合いの心が育まれ、高齢者の方や地域の人みんなが安心して暮らせる街にしていきたいと思いますと考えております。

【中学生議会 部長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち②

質問区分	中学生議会	議員名	<small>たかはしゆうか</small> 高橋優佳議員
発言順(通し番号)	NO:2	所管課・室名	介護保険課

質問事項	高齢者の介護予防について
具体的な提言	65歳以上の介護予防講演会を、若者向けにしたものを計画したらどうか

【部長答弁】

たかはし  
高橋議員のご質問にお答えします。

先程市長がお答えいたしました。介護予防は、若いころからの健康づくりへの取り組みが重要となります。

平成28年度に、市内で要介護認定を受けた方について、その原因となった疾患を調べたところ、“認知症”、“骨折・転倒”、“脳血管疾患”等が上位を占めていました。

市では現在、若い方を対象として「若年者健診」や「特定健診時の若年者健康相談」等の事業を実施しております。

これは生活習慣病の発症予防、重症化予防のため、日頃の生活習慣を見直す大切さをお伝えし、将来的に要介護状態になることを予防する事業となっております。

またご希望により、地域の集まりなどに市の職員が出向き、事業等の説明を行う「出前講座」を実施しております。

その中には、「介護予防」や「認知症予防」等のメニューもありますので、多くの若い方に広くこの事業を活用していただければと思います。

さらに認知症については、このほかに「認知症サポーター養成講座」があります。

これは、認知症に関する正しい知識を身につけることで、認知症の方やその家族をあたたく見守り、支援をする人を養成するための事業で、中学生向けの養成講座も開設しております。

学校や生徒会はもとより、関心のある仲間やグループでも申し込みをいただくことができますので、ぜひ受講をして認知症サポーターになっていただきたいと思います。

今後とも、若いうちから介護予防について関心を持っていただけるよう、啓発活動に努めてまいりたいと思います。

【中学生議会 部長答弁様式1】穏やかに暮らせるまち③

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	栗幅 <sup>くりはば</sup> 建年議員
発言順(通し番号)	NO:3	所管課・室名	商工労政課

質 問 事 項	子育てをしている方の働き方について
具 体 的 な 提 言	長時間労働によって保育園に迎えに行けないので合計で8時間なら、いつでも職場を抜けられるようにしたらどうか。

【部長答弁】

栗幅<sup>くりはば</sup>議員のご質問にお答えします。

ご提案いただきました「時間にとらわれない働き方」について、取り組みをご説明いたします。

そもそも、会社や事業所で働く際には、働く人と、それを雇う人との間に雇用契約という約束が結ばれ、一日の勤務時間や休みの取り方、賃金の支給方法などが決められています。

栗幅議員からご指摘いただいたように、各会社に向けて、国が提言している多様な働き方に対応できる雇用契約の改善の必要性を周知していかなければなりません。

そこで、市としましては、商工観光部にある労働政策を担当する部署から市内企業様に向け、働き方の改善に関するセミナー情報の発信を行っております。

平成28年度においては、市の広報やホームページで有給休暇の取得を促進する記事や、働き方改革に関する講習会の情報、プレミアムフライデーに関する案内等、延べ5回掲載させていただきました。



本年度は、職場環境改善アドバイザーを配置して、多様な働き方制度導入に向けたアドバイスを企業訪問する中で説明し、仕事と家庭を両立しながら働き続けられる環境整備に努められるよう実施しております。

また、新しい働き方として、「テレワーク」という概念もございます。通常の仕事をしている職場を離れ、情報通信機器を活用し業務を行ったり、一部の仕事をシェアしてテレワーカーに外注する等の様々なスタイルがあり、自分で場所や時間を調整しながら仕事の配分を行う働き方もあります。

こうした働き方を紹介し、そして習得していただくためのセミナー案内についても、市の広報誌への掲載や認定こども園などの保護者の方をターゲットに個別配布させていただいております。

働き方は多種多様であり、その時々々の経済状況や社会情勢に応じて雇用の仕組みなど柔軟に対応することが必要となっており、市としましても、今後も企業や市民に対し、働き方改革などの情報を提供しながら、子育てをしている方などの支援に努めていきたいと考えております。